

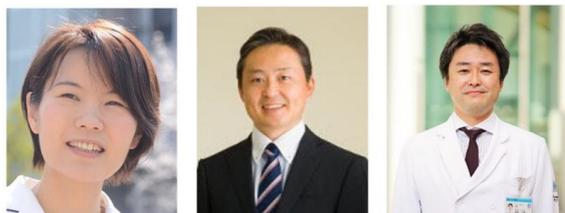
岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 68
2021.12

TOPICS

1

根本助教、HARA研究准教授、遠西研究教授が JST「2021年度創発的研究支援事業」に採択

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10738.html

学術研究院環境生命科学学域(農)の根本理子助教と同院医歯薬学域(歯)のHARA EMILIO SATOSHI研究准教授、岡山大学病院ゲノム医療総合推進センターの遠西大輔研究教授が、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「2021年度創発的研究支援事業」に採択されました。

同事業は、特定の課題や短期目標を設定せず、多様性と融合によって破壊的イノベーションにつながるシーズの創出を目指す「創発的研究」を推進するため、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な多様な研究を、研究者が研究に専念できる環境を確保しつつ長期的に実施する事業です。また、創発を促進するため、実施期間中は、異分野を含む多様な研究者同士が相互に触発し、切磋琢磨する「創発の場」を設けることで、破壊的イノベーションにつながるシーズの創出を目指す事業でもあります。

TOPICS

2

「岡山イノベーションコンテスト2021」で 岡山大学発ベンチャーがグランプリ、工学部・吉田さんが大賞、 自然科学研究科・長島さんがMASC賞を受賞！

優れたビジネスモデルをコンテスト形式で評価する「岡山イノベーションコンテスト(OIC)」のファイナルステージが11月27日に開催され、本学発のベンチャー企業「そなえ株式会社」の森三貴子さんがビジネス部門大賞並びにグランプリを受賞しました。また、工学部4年の吉田裕哉さんがビジネスプラン部門大学・専門学校生の部で大賞を、自然科学研究科1年の長島慶樹さんがMASC賞を受賞しました。本学発ベンチャーのグランプリ受賞は、5度目にして初の快挙です。

コンテストは、地域の起業家育成を目指す「岡山イノベーションプロジェクト」の一環で5度目の開催。今年は103組の応募がありました。本学学生も参加しており、榎野博史学長は高校生の部の審査員を務め講評を行いました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10702.html

Pick up!

令和3年度オンライン大学祭を開催しました



11月7日～30日の期間、本学の大学祭実行委員会と校友会が共同で、令和3年度オンライン大学祭を開催しました。期間中、校友会の電子計算機研究会が制作したオンライン大学祭の特設ホームページを公開。部活やサークルの活動をホームページ上で紹介したほか、人気お笑い芸人のライブや、部活・サークルのパフォーマンスを生配信する企画も行いました。豪華景品が当たるスタンプラリー企画も好評で、期間中、約1万1千人の方が特設ホームページを視聴しました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10713.html

TOPICS

3

競技ダンス部の内藤さん、佐崎さんが 全日本学生競技ダンス選手権大会で悲願の初優勝！

12月4～5日に開催された「第66回全日本学生競技ダンス選手権大会」で、タンゴの部に出場した本学競技ダンス部の内藤統太さん(理学部)、佐崎琴未さん(工学部)のペアが優勝しました。昨年の同大会でもタンゴの部で3位となり、今回、ペアとして最後の全日本選手権大会で、悲願の初優勝を果たしました。

本大会のタンゴの部には、全国の予選を勝ち抜いた40組が出場しており、1次予選・2次予選を勝ち上がった6組が決勝で競った中で、「女性の強さが際立ち、音楽、スピード、軸の強さが良かった」と評価された内藤さん・佐崎さんペアが、見事1位となりました。初優勝を振り返り、内藤さんは「率直にとっても嬉しいです。たくさんの方から連絡を頂いて優勝した実感が湧いてきています。パートナーとこれまで頑張ってきて良かったです」、佐崎さんは「『優勝して当たり前だ！』と思えるほど練習したので、本当に嬉しいです。コロナ禍の中、モチベーションを保つのが難しい時期もありましたが、なんとかやり切ることが出来ました」と喜びを語りました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10729.html



TOPICS

4

資源植物科学研究所の馬建鋒教授が 日本植物生理学会賞を受賞！



馬教授

12月7日、日本植物生理学会賞の2022年度受賞者に、本学資源植物科学研究所の馬建鋒教授が選ばれました。

日本植物生理学会賞は、植物科学分野で際立った研究成果を挙げた日本植物生理学会会員に与えられるもので、毎年1人の受賞者が選出されます。馬教授は、「作物のミネラル輸送機構に関する研究」において受賞が決定しました。

受賞を受け、馬教授は「コツコツと地道に頑張ってきたことがこのような形で評価され、大変うれしく思います。この賞を励みに、また精進したいと思います。」とコメントしています。

授賞式と受賞講演は、令和4年3月23日に「つくば年会」(オンライン)にて行われます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10721.html

PRESS
RELEASE

医療系オープンイノベーション・プログラム「BIZEN」が活動開始



2021年12月1日、鹿田会館内にオープンイノベーション・ラボが竣工し、医療系オープンイノベーション・プログラム「BIZEN」(Business Innovation Zone for Entrepreneurship)が本格稼働しました。岡山大学病院を中心とした医療系の産学共創活動からイノベーション創出を連続的に生み出すエコシステムの整備を加速するとともに、大学の価値を社会へ還元し、大学の収益に転換する取組などをしていきます。

「BIZENラボ」は、鹿田キャンパス医学部正門に隣接する鹿田会館内に実験室3部屋、オフィススペース6部屋、会議室及び交流スペースを整備し、研究活動等の場として活用いただきます。また、エキスパートがコーディネートする「BIZENプログラム」では、参加いただいた企業研究者の方に、岡山大学病院での臨床現場におけるニーズ探索や、大学が保有する様々なシーズや研究開発基盤を自社の開発に活用していただけるよう、人材教育や商品開発・事業展開に繋がる実務支援を行います。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/press_r3/press2021216-3.pdf

